

(前頁より)

宮城支部学術集也会今年で5回目を数え、発表内容も益々充実してきました。多忙の中、世話人をお引き受け下さった宮川先生を始め、事務局を担当された仙台オープン病院長の皆さん、ご協力下さった関係諸氏に感謝申し上げます。宮城支部が更に発展出来ますよう、なお一層のご支援ご協力をお願い致します。

(文責：国立病院機構仙台医療センター名誉院長 櫻井芳明)

第8回高知県支部学術集會

当番世話人：高知県立幡多けんみん病院脳神経外科部長 西村裕之



会場風景

第8回日本医療マネジメント学会高知県支部学術集會は、2010年8月22日(日)、高知市文化プラザかるぽーとで開催され、344名の参加がありました。

特別講演(1)は、尾崎正直高知県知事に「高知の医療の充実に向けて～高知県の地域医療再生への取り組み～」というテーマで講演をいただきました。高知県知事の直接の声として、色々な職種の医療従事者に、高知県の方向性をお示しいただいたことは非常に有意義であり、あらためて高知県の地域医療再生への意欲と今後の希望を持つことができました。

特別講演(2)は、国立病院機構長崎医療センター 情報管理運営部長 木村博典先生から「地域の医療の質を向上させるためにITをどう使うか～長崎あじさいネットの取り組みについて～」と題してご講演いただきました。長崎におけるあじさいネットの取り組みは、今後の高知県の医療連携の充実に向けて、ぜひ参考にさせていただきたい内容でした。

一般演題は、医療安全・クリティカルパス・医療連携等35題の発表があり、活発な討論が行われました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げ、開催の報告とさせていただきます。

第6回広島支部学術集會

支部長：広島県庁広島県病院事業管理者 大濱紘三

日本医療マネジメント学会広島支部は、2010年9月4日(土)、広島県立広島市民病院の講堂にて第6回広島支部学術集會を開催致しました。この度、174名の参加がありました。

講演では、伊関友伸先生(学校法人城西大学准教授)より「新政権になり、医療はどうなるか」(座長：谷田一久先生)の御講演、また阿南誠先生(九州医療センター)より「DPCにおける診療情報管理士の役割－有能な診療情報管理士が病院を救う－」(座長：大濱紘三先生)の御講演を頂きました。

シンポジウムでは、「診療情報管理士の役割」(座長：大濱紘三先生)と題して、相田英作先生(福山市民病院)より「DPCデータからみた局所最適化と全体最適化への一歩」、長澤哲夫先生(広島国際大学教授)より「診療情報管理士の役割」、松古富美子先生(呉医療センター・中国がんセンター)より「呉医療センターにおける診療情報管理士の役割」の御講演頂きました。

以上のような御講演をして頂き、参加者からの質問が多々飛び交う中、定刻時間を迎えてしまい、盛会の内に閉幕致しました。

第7回岡山県支部学術集會

学術集會会長：倉敷中央病院院長 小笠原 敬三

2010年9月11日(土)、倉敷中央病院の大原記念ホールにおいて開催し、関係者を含めて334名が参加しました。今回の学術集會のテーマとして「医療の質向上と医療の透明化－医療の質を患者の視点から見直す－」を掲げ、特別講演2題、シンポジウム1題、一般演題14題、ポスター発表15題、クリティカルパス11題について、活発な討議や意見交換が行われました。

特別講演では、聖路加国際病院院長の福井次矢先生から自院での活動経験をもとに、クリニカルインディケータを用い数字で現状を明らかにすることが、医療者の自覚を促し医療の質が向上することをお示しいただきました。また、ささえあい医療人権センター COMLの辻本好子理事長からは、ご自身のがん治療の体験を振り返って、患者の立場として最善の医療を受ける権利を持っていることにあわせ、患者さまが納得をしながら治療を受けられるよう医療者が配慮することをお話しいただきました。

医療の質の透明化につきましては、医療の治療効果や安全性を向上させるための透明化、あるいは患者への説明責任のための透明化、患者が治療を受けるに際し納得を得るための透明化と、さまざまな考えがあると思います。手段・目的に違いはありますけれども、「あるべき医療」が実施されるために、提供する側と受益者がともに歩み寄るようになる点では同じではないかと認識する有意義な場となりました。

本会の開催にあたり多大なるご協力をいただきました皆様に深く御礼申し上げます。

第3回岩手県支部学術集會

学術集會会長：岩手県立中部病院院長 北村道彦

第3回岩手県支部学術集會は2010年9月18日、岩手県医師会館で、150名が参加し開催されました。メインテーマを、『医療の質と効率を問う』とし、副題を「限りある医療資源の有効利用、アウトカムとベンチマーキング」としました。